

令和4年度 子どもの居場所づくり運営研修会(第1回) 開催要項

1 趣 旨

コロナウイルス感染症の影響により、人と人が互いに距離を取り、接触する機会を減らすことを求められ、様々な地域福祉活動の休止や自粛される状態が長く続いています。そのような中でも、子どもの居場所づくりとして、「学習支援」、「子ども食堂」等の取り組みが全国的に進んでいます。特に「子ども食堂」は増えており、令和3年には、全国で6,007箇所、県内においても110箇所で開催されています。

しかしながら、登園・登校自粛、公共施設等の利用制限などによる生活の変化により、不安やストレスを抱える子どもや、コロナ禍による世帯の収入の変化や生活に必要な支出の増加により、必要な食材や衣服が買えない等、生活に困窮する子育て家庭は増え続けており、公的な制度では解決できない課題が浮かび上がってきています。

このような中、子どもの居場所づくりの取組は、学校や親だけでなく地域全体で子どもや子育て中の親の日々の生活を支える新たな役割として注目されています。

今回の研修会では、コロナ禍で見えてきた子どもや子育ての問題、困窮する子育て家庭の現状を理解し、コロナ禍が長期化する中で子どもの居場所づくりに取組む上での課題や悩みを子どもの居場所づくりを運営する者同士で共有し、これからの活動に生かせるヒントを得ることを目的として開催します。

2 主 催

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

3 日 時

令和4年5月27日(金) 午後1時20分から午後4時まで

4 実施方法

ZOOMによるオンライン形式

5 参加対象者 ※①、②のいずれかに該当する方

- (1) 子どもの居場所づくりを運営している、立ち上げを考えている関係者(自治会、町内会、地区社協等関係者等)
- (2) 子どもの居場所づくりを支援する立場にある方(市町社協職員、NPO法人等)

6 参加費

無料

7 プログラム

13:20~13:30	開 会
13:30~15:00 【90分】 (途中休憩含む)	講義 「コロナ禍における子ども、子育て家庭の支援」 コロナ禍が長期化する中、休園・休校、公共施設等の利用制限、世帯収入の変化などにより、子どもや子育て家庭はどのような問題を抱えているのか、子どもや子育て家庭を地域全体で支えるために私たちにできることはどんなことなのか、「こどもを主体とした地域づくりネットワークおかやま」の取組を含め、お話いただきます。 (講師) 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 講師 「こどもを主体とした地域づくりネットワークおかやま」 代表 直 島 克 樹 氏
15:00~15:10	休 憩 (10分)
15:10~16:00 【50分】	情報交換 子どもの居場所づくりを運営する上で工夫していることや、悩んでいること、課題についてなど共有し情報交換を行います。 [15:10~15:15 情報交換の進め方の説明 15:15~15:45 グループに分かれての情報交換 15:45~16:00 全体で情報共有、講師からの助言]

8 参加申込

令和4年5月12日(木)までに、下記申込フォームからお申込みください。
〔申込フォーム (Microsoft Forms を使用しています)〕

<https://forms.office.com/r/YXaVfU8jHw>



9 問合せ先

山口県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉班
〒753-0072 山口市大手町9番6号
TEL (083) 924-2828 FAX (083) 924-2847
e-mail chiiki@yg-you-i-net.or.jp
HP <https://www.yamaguchikensyakyō.jp/>